



教育委員会だより

令和4年2月

「住むんだったら」「学ぶんだったら」「教えるんだったら」つがる市がいい！

つがる市教育委員会

市民に開かれた教育委員会をめざして

つがる市教育委員会教育長 葛 西 嶽 輔

国が示す学校教育の基準である「学習指導要領」が平成28年に改訂され、令和2年度から小学校で、令和3年度からは中学校で、全面的に実施されています。

新学習指導要領の大きな柱の一つとしてあげられるのが『社会に開かれた教育課程の実現』という考え方です。これは、「社会と学校が連携しながら、これから社会を創り出していく子供たちに求められる資質・能力を、しっかりと身につけられるように、工夫された教育計画を作り実現していきましょう。』というものです。つがる市教育委員会は、『社会に開かれた教育課程の実現』に向けて各校がそれぞれ行っている特色のある取組を全面的にバックアップしています。

さて、教育委員会は、学校教育のみならず、社会教育・社会体育・文化財保護など、教育関係の様々な業務に携わっています。おかげさまで、教育委員会だより第1号で紹介しました施策を、市民の皆様のご理解とご協力を得ながら着実に進めることができました。

『社会に開かれた教育課程の実現』を果たすためには、教育委員会自体も『市民に開かれた教育委員会』にならなければいけないと考えています。その一つの取組として、今回2ページに「本市児童生徒の学力等の状況」を公表いたしました。

今後も市民の皆様に、つがる市の教育の状況、成果と課題、今後の取組について、わかりやすくお知らせしていきたいと思います。市民の皆様もご意見やご要望、ご質問などがありましたら、教育委員会までお寄せください。

社会教育文化課の役割



学校教育を除く青少年及び成人に対して行われる教育活動を担う「社会教育」と地域社会、家庭等で行う体育活動を担う「社会体育」、地域文化を含む文化財の調査、保護を担う「文化財保護」を主な業務としています。今年度の代表的な業務として、社会教育の分野では「つがる市長寿大学」を1年ぶりに開講いたしました。社会体育としては、つがる市スポーツ推進委員協議会主催による「ノルディックウォーキング教室」が初めて開催されました。文化財保護においては、史跡整備のための追加発掘調査を実施いたしました。社会教育文化課は今後も住民の生涯学習、生涯スポーツの推進及び文化財の適正な管理に努めてまいります。

本市児童生徒の学力等の状況

＜全国学力・学習状況調査、青森県学習状況調査の結果より＞

全国と県の調査の結果から、今年度の児童生徒の学力や生活面の成果と課題が、明らかになりました。引き続き学校と教育委員会が連携して取り組んで参ります。

① 令和3年度 全国学力・学習状況調査の結果（令和3年5月27日実施）

小学校6年生、中学校3年生を対象に、国語、算数・数学、質問紙調査が行われました。

【国語、算数・数学の結果】

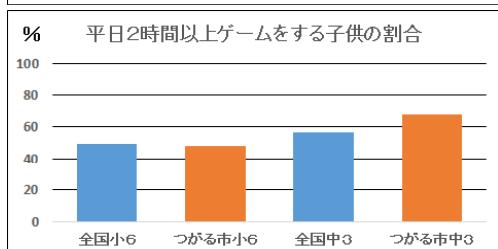
○小学校は、国語が全国平均を上回り、算数は全国平均とほぼ同じ結果となりました。

○中学校は、国語が全国平均とほぼ同じ結果となりましたが、数学が全国平均を下回る結果となりました。

【質問紙の結果】

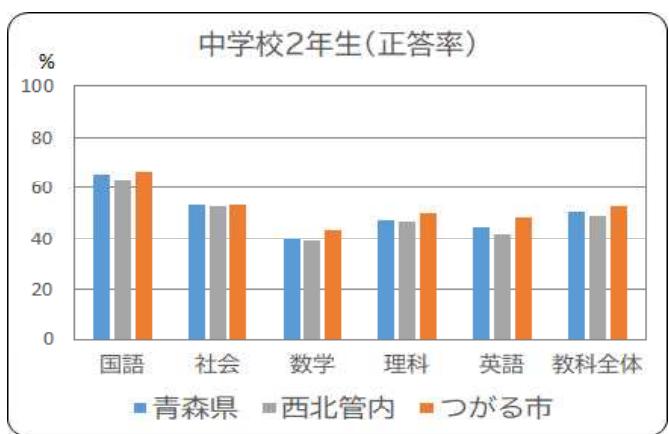
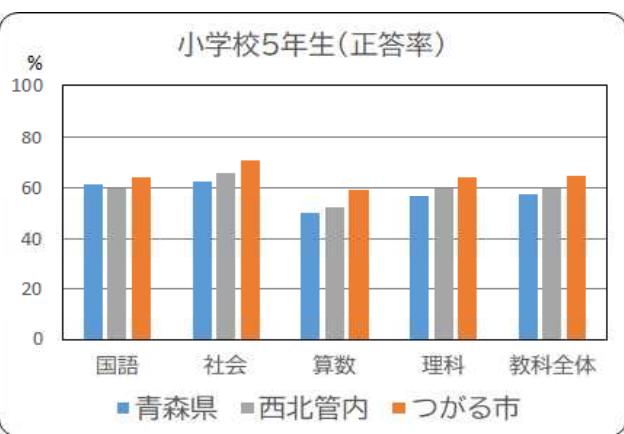
○「将来に夢や目標を持っている子供の割合」は、小学校で全国を上回り、中学校で全国平均をやや下回る結果となりました。

○「平日2時間以上ゲーム（テレビゲーム・携帯ゲーム・スマホゲームなど）をする子供の割合」は、小学校で全国平均をやや下回り、中学校で全国平均を上回る結果となりました。



② 令和3年度 青森県学習状況調査の結果（令和3年8月25日実施）

小学校5年生を対象に、国語、社会、算数、理科、質問紙調査、中学校2年生を対象に国語、社会、数学、理科、英語、質問紙調査が行われました。本市の小学校5年生は、国語以外の3教科と教科全体で青森県1位の成績、中学校2年生は、数学が県1位、教科全体では、十和田市・三沢市（同率1位）に1点差の3位（実質2番目の点数）の成績と大変良好な結果となりました。



令和4年度よりつがる市内の全ての小中学校で つがる市型「小中一貫教育」がスタートします

つがる市では、小中一貫教育の取組を来年度より数年をかけて充実・発展させていきます。

【小中一貫教育とは？】

小学校から中学校までの義務教育9年間において、一貫性をもたせた教育課程（学校の教育計画）を編成して指導を行うものです。また、小中学校の教員が校種の垣根を越えて、子どもを育てる教育の仕組みです。

【小中一貫教育のメリットは？】

- ① 子どもたちにとって、小学校から中学校に進学した際に生じる、学習面や生活面での不安感（いわゆる「中1ギャップ」）が軽減され、スムーズに学校生活にじめる効果があります。
- ② 学校にとって、小学校から中学校までの9年間、学習面・生徒指導面で一貫した指導をすることで、学びのロスを無くし、より効果的な教育を行うことができます。

【つがる市型「小中一貫教育」の特色】

特色1 今の小学校・中学校の枠組みの中で、一貫した教育を行います

第1学区小中一貫教育校（木造中学校・向陽小学校・穂波小学校・瑞穂小学校）、第2学区小中一貫教育校（森田中学校・森田小学校）、第3学区小中一貫教育校（柏中学校・柏小学校）、第4学区小中一貫教育校（稻垣中学校・稻垣小学校）、第5学区小中一貫教育校（車力中学校・車力小学校）の枠組みで一貫した教育を行います。

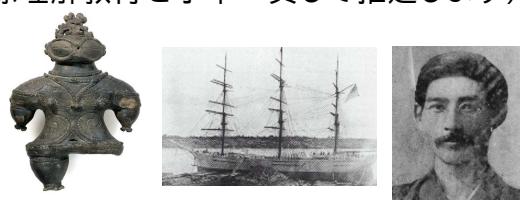
特色2 つがる市型「小中一貫教育」は3本の柱ですすめます

次の3本の柱を中心に、一貫した教育をすすめます。

柱1 グローバル科（つがる市の強みである英語教育・国際理解教育を小中一貫して推進します）

柱2 つがる市型「郷土学」

（縄文文化、チエスピローラー号遭難、
本市出身の世界的天文学者故一戸直蔵博士 等、
本市が誇れる教材を9年間で系統的に学習します）



柱3 キャリア教育（自分の生き方を考え、将来の夢や志に向かってがんばる心を育てる教育を9年間で系統的に学習します）

特色3 保護者・地域の協力を得ながら、社会全体ですすめます

つがる市型「小中一貫教育」の柱である、つがる市型「郷土学」や「キャリア教育」は、保護者・地域の皆様の協力が不可欠です。「コミュニティ・スクール」や「地域学校協働活動」と連動させながら、社会全体で「小中一貫教育」をすすめるために、ご協力をお願いします。

地域学校協働活動の紹介

今年度から開始された、地域学校協働活動。コロナ禍の中、地域の皆様の協力を得て、充実した活動が展開されました。たくさんの活動の中から、各校に1つずつ紹介してもらいました。

向陽小学校



5年生の家庭科調理実習で5名の方に協力していただきました。お手伝いのおかげで、けがや失敗がなく実習は大成功でした。

穂波小学校



現在、学校支援ボランティアは16名登録。図書整備・ガス台掃除・ミシン学習支援等で大活躍！児童の学びの応援隊です。

車力小学校



つがる市のブランド品を調べました。パソコンの操作を教えてもらい、児童もボランティアの方々も楽しく活動できました。

瑞穂小学校



すいか、稻作体験、徒歩遠足の補助など瑞穂伝統の行事で活動しています。今年のすいかも大収穫。貴重な体験ができました。

木造中学校



PTA環境整備委員会の花壇整備と草刈り作業が、地域の皆さん協力をいただきながら、行われました。

森田中学校



コーディネーターの今由紀子さんのお世話で開催された、ドラマリーディング形式での読書会「走れメロス」は圧巻でした。

森田小学校



地域学校協働活動推進員のコーディネートにより、地域の生産者の協力のもと、市特産物の「ねぎ」の収穫体験を行いました。

柏中学校



つがる市教育委員会学芸員の小林和樹さんを講師にお迎えして、「縄文遺跡講座～つがる市の縄文遺跡を学ぼう～」を開催しました。

柏小学校



全校遠足で、頼りがいのあるボランティアが、ゲームや児童の安全を守るために協力してくれました。チーム柏の貴重な戦力です。

稻垣中学校



これまでの学習支援に加え、最近はスクールバスのバス停の安全点検と、登校見守り指導へのご協力をお願いしました。

稻垣小学校



春、学校の畑にマルチを敷いてもらい、子どもたちがトマトやジャガイモなどをスムーズに植えることができました。またPTAを中心に、グランドの草取りもしてもらいました。

車力中学校



学区全地区の代表者22名と教職員11名とで、「地区懇談会」を行いました。生徒のために一緒にできることを考えました。